

Gコース

13:30~4:50

言葉のマジション

担当：中條 範子

図画工作の授業の中で**表現**するのは子どもです。

↓しかし・・・

「先生、これでいいですか」という声が聞かれてしまうのはなぜなのでしょう。

自分の表現したものについて、なぜ、指導者にその是非を求めようとするのでしょうか。

考えられる理由（小学生のころの私の場合・・・）

- 「こうするのよ」「ああするのよ」と指導者に言葉をかけられたために、「これでいいのかな」と不安だった。
- 自分なりにはいいのができたと思っていたのに、指導者による言葉や態度の反応が自分の思っているものと違い、これじゃダメなの？という感情が湧いた。
- 「よく見て！色違うでしょ」と言われた。
- 「この構図なら、横じゃなくて縦だよねー」と言われて後輩たちの見本にされていた。
- どう考えても友達の方が「上手」に見えた。

↓

◎子どものやる気を高めるのは、**先生の言葉かけ**によるのです。

◎次の一手で止まってしまったときの後押しをしてくれるのは、**先生の言葉かけ**です。

◎いいのができた時、さらに気持ちを盛り上げてくれるのも、**先生の言葉かけ**です。

◎先生と子どもの信頼関係を築き、さらには学級経営を円滑に進めるためにも必要なのは、**先生の言葉かけ**による関係作りです。

そこで！！

今日はみなさんと、言葉を自在に操り、
表現者（参加している大人の皆さん）のやる気を
グイグイ☆あげて↑↑いきましょう！

※当然ですが、正解はありません。皆さんで探り、検討し、即実践！です。

事前申し込み、少なめです。ドタ参加、お待ちしております♪

前半参加されたのち、他のワークショップに参加されてもいいです♪





